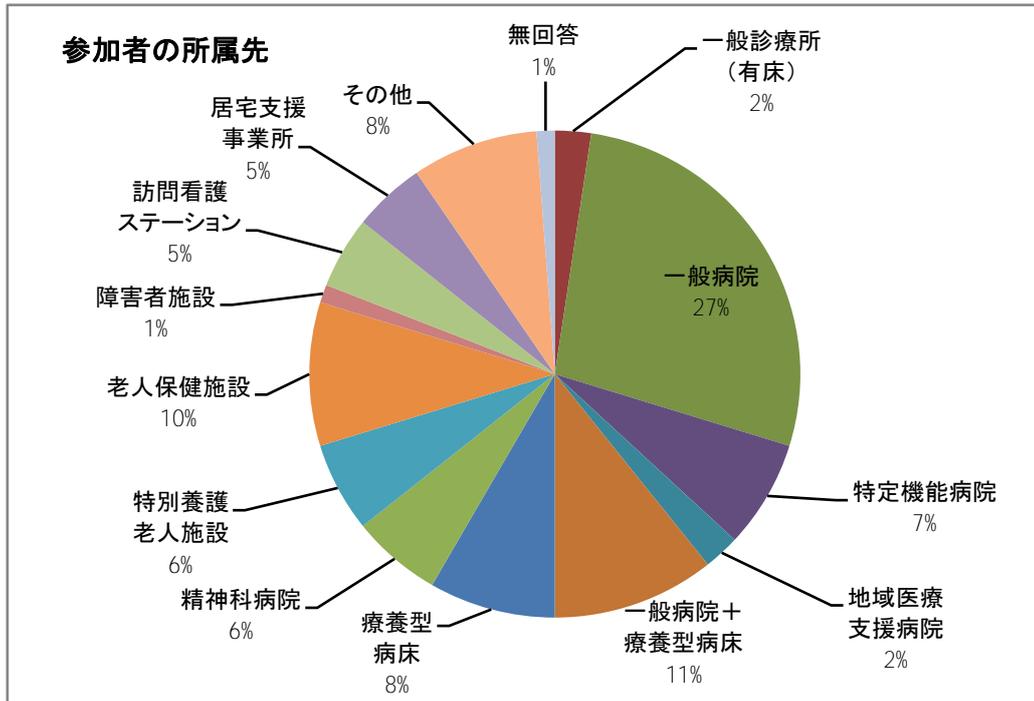


小田原地区合同セミナー・アンケート結果

平成20年11月15日
(サンプル数84)

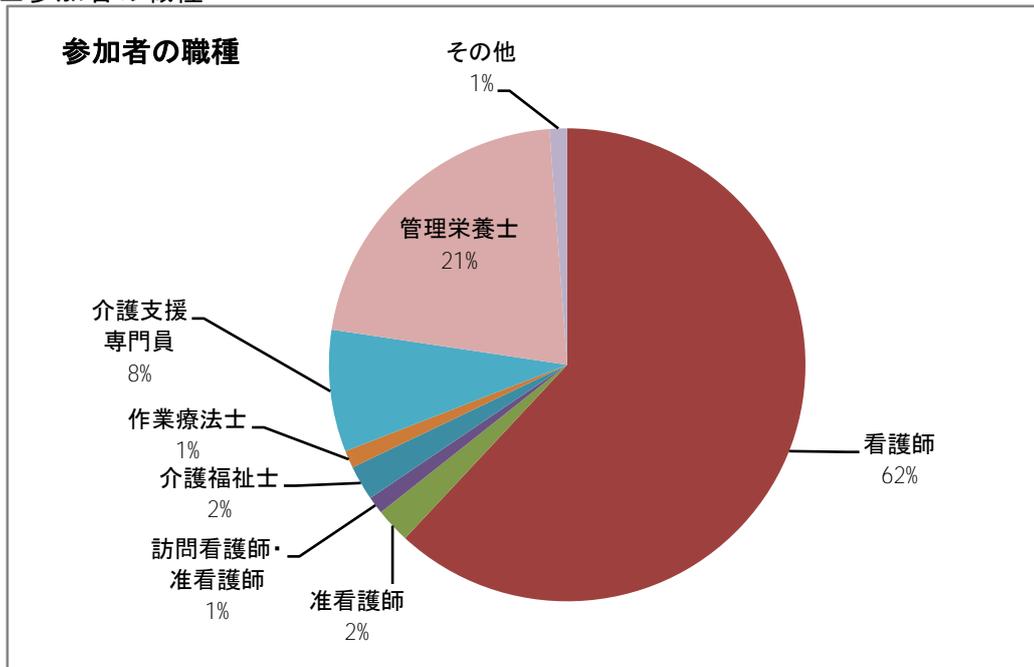
I. 参加者のプロフィール

■参加者の所属先



その他：看護学校、精神科病棟内介護保険適用病棟、精神科病棟内 認知症疾患介護療養病棟、行政・介護認定調査員・在宅歯科衛生士、療養型病床+リハビリテーション病院 N=84

■参加者の職種



その他：看護教員

N=84

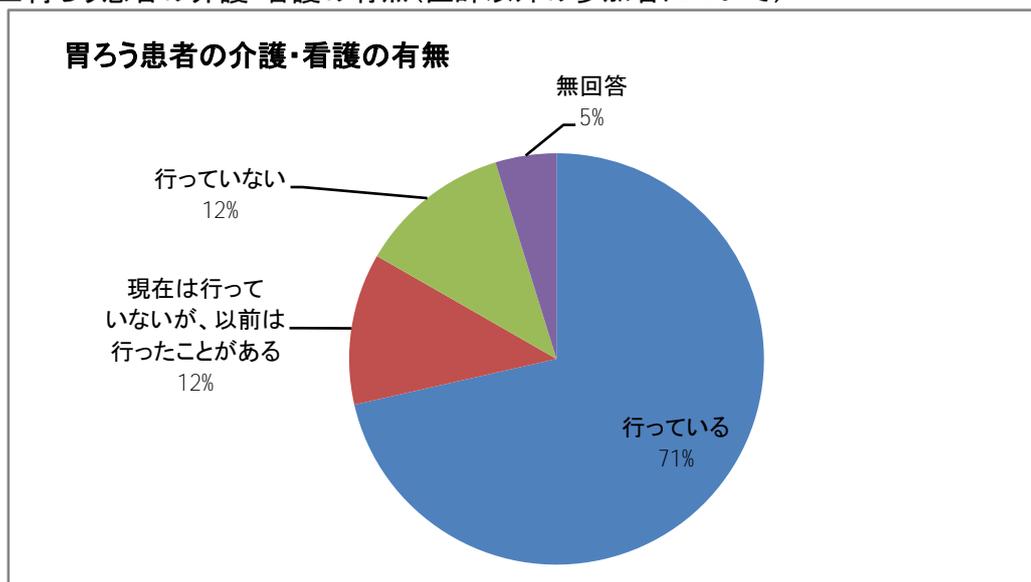
■所属先の所在地

N=84

市、郡	小田原市	伊勢原市	足柄下郡	秦野市	南足柄市	藤沢市	横浜市
人数	22	10	10	8	5	3	2
%	26.2%	11.9%	11.9%	9.5%	6.0%	3.6%	2.4%

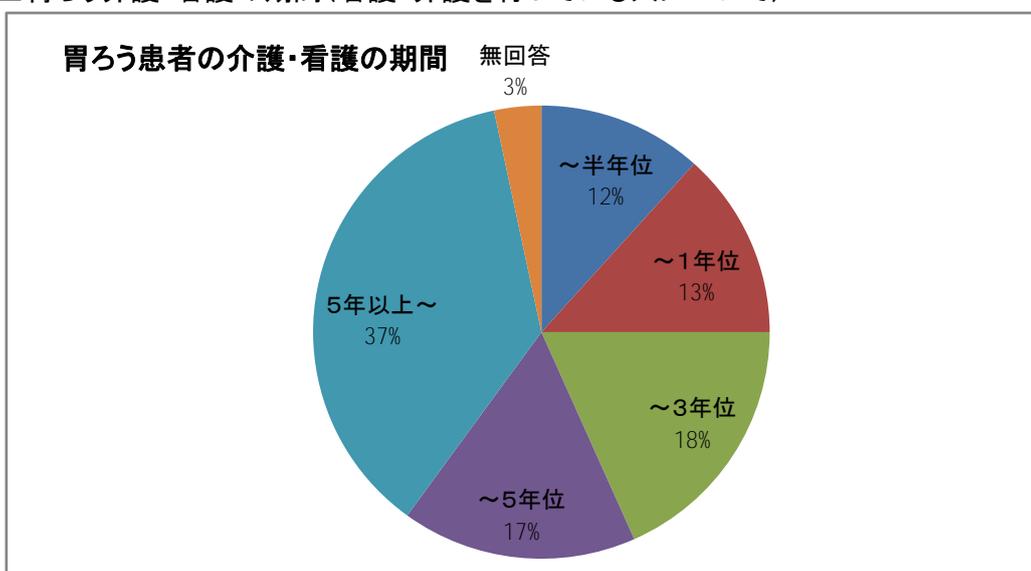
厚木市	平塚市	神奈川県のみ	無回答	合計
2	2	1	19	84
2.4%	2.4%	1.2%	22.6%	

■胃ろう患者の介護・看護の有無(医師以外の参加者について)



N=84

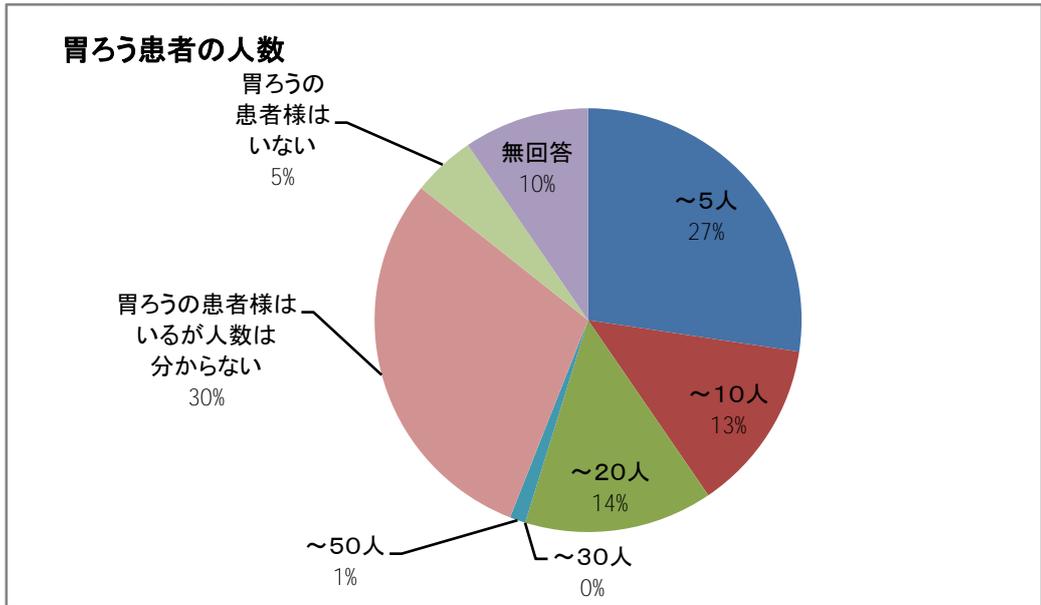
■胃ろう介護・看護の期間(看護・介護を行っている人について)



N=60

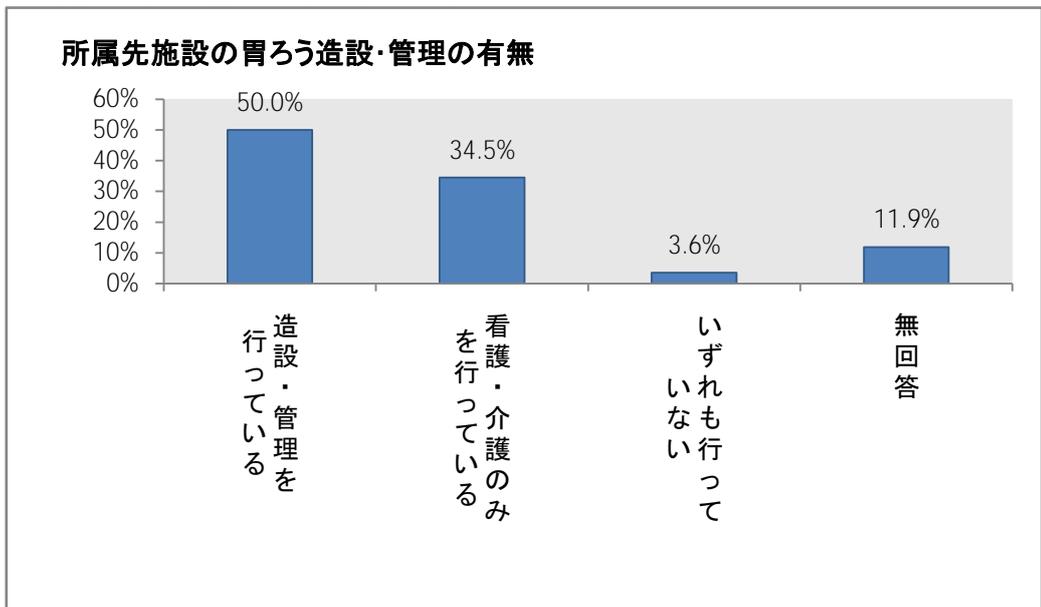
II. 所属先施設の胃ろうの現状

■ 所属先施設の胃ろう患者の人数



N=84

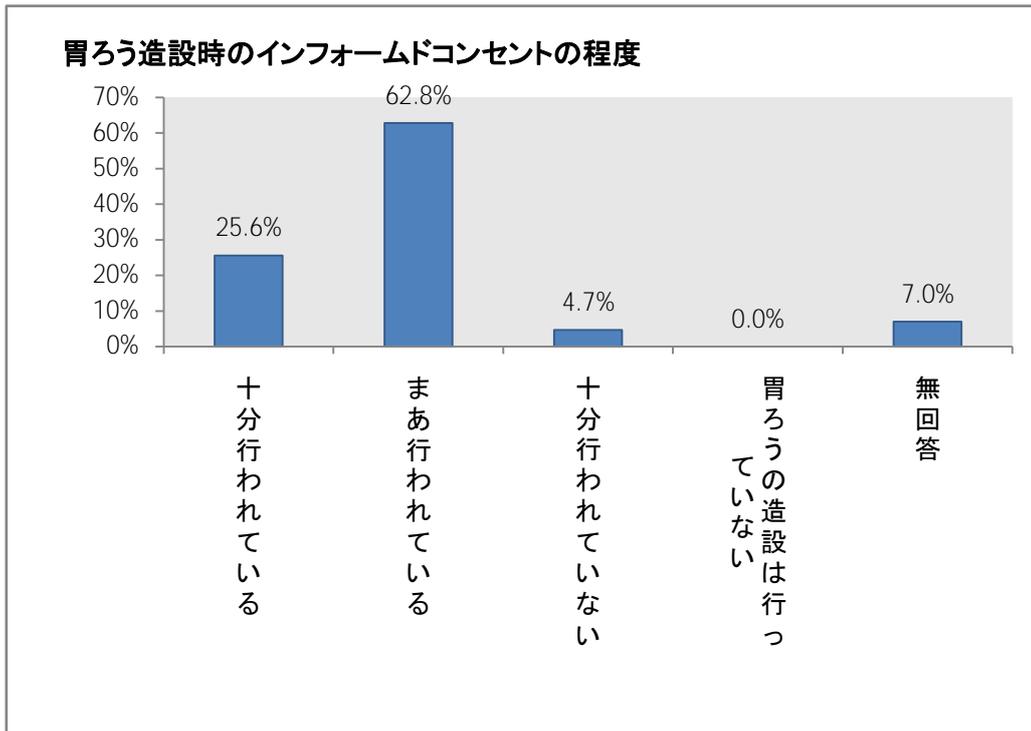
■ 所属先施設の胃ろう造設・管理の有無



N=84

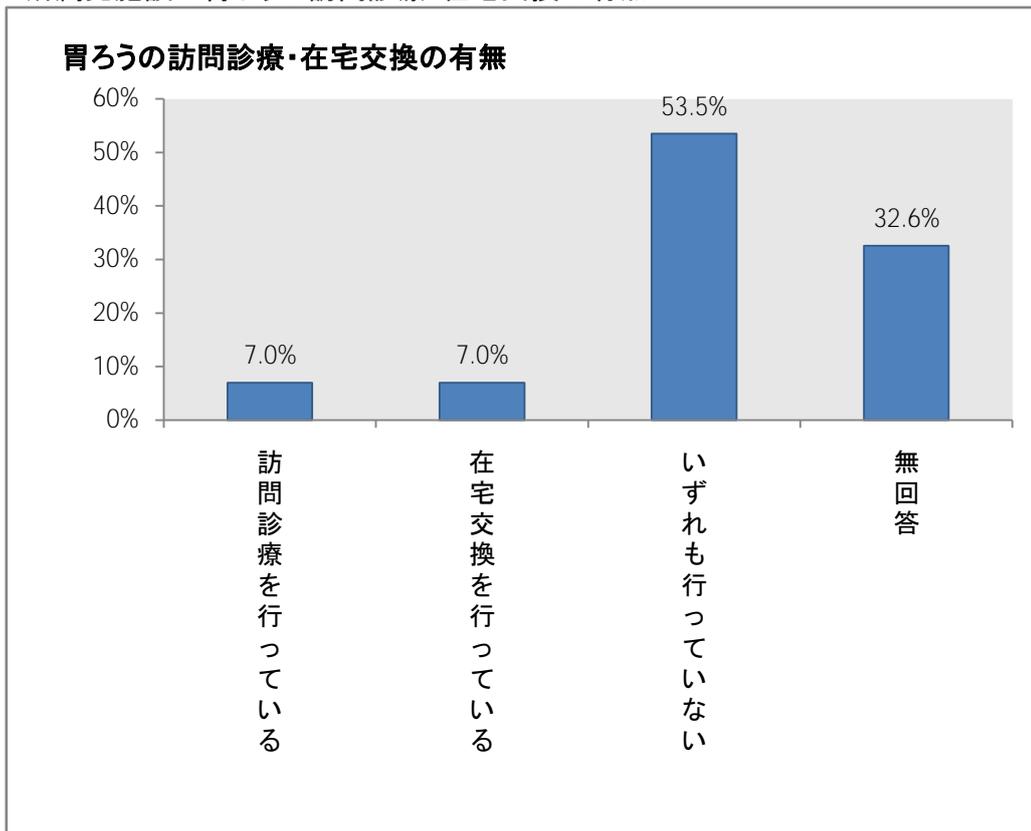
■ 胃ろう造設時のインフォームドコンセントの程度

(所属先が胃ろうの造設・管理を行っている参加者について)



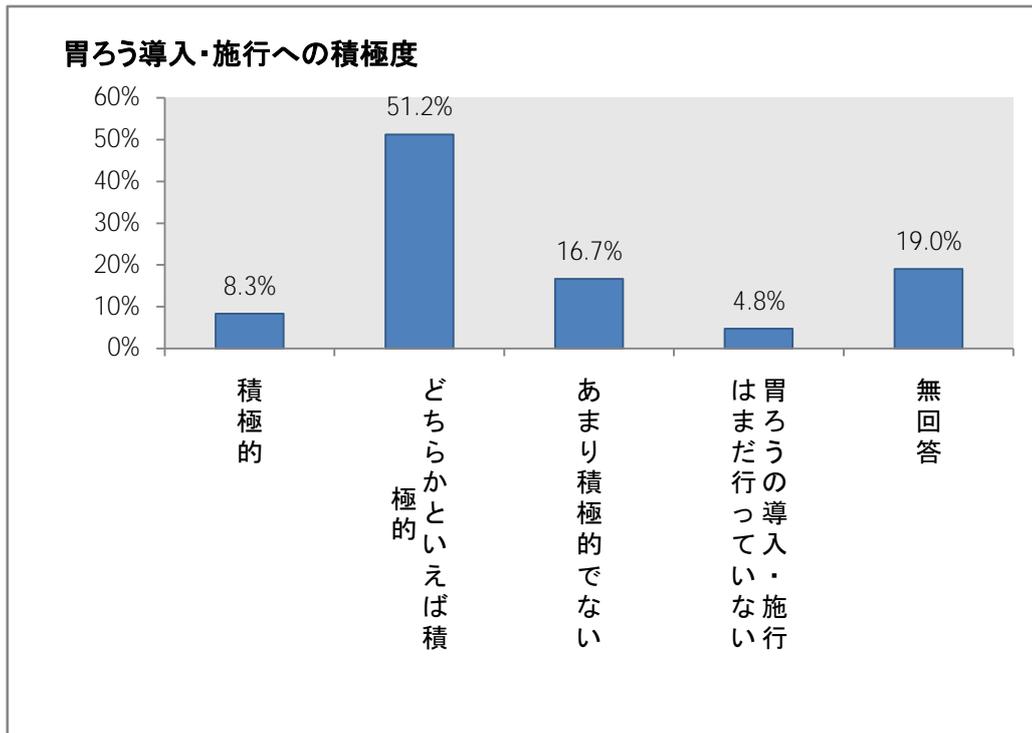
N=43

■ 所属先施設の胃ろうの訪問診療・在宅交換の有無



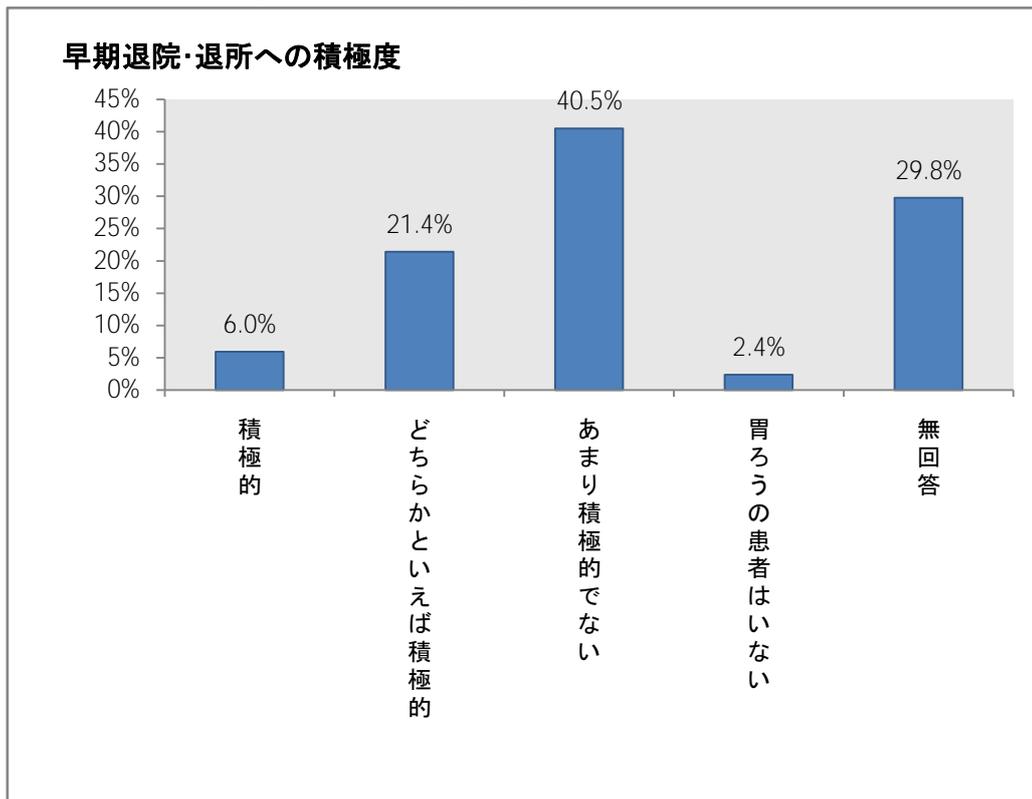
N=43

■ 所属先施設の胃ろう導入・施行への積極度



N=84

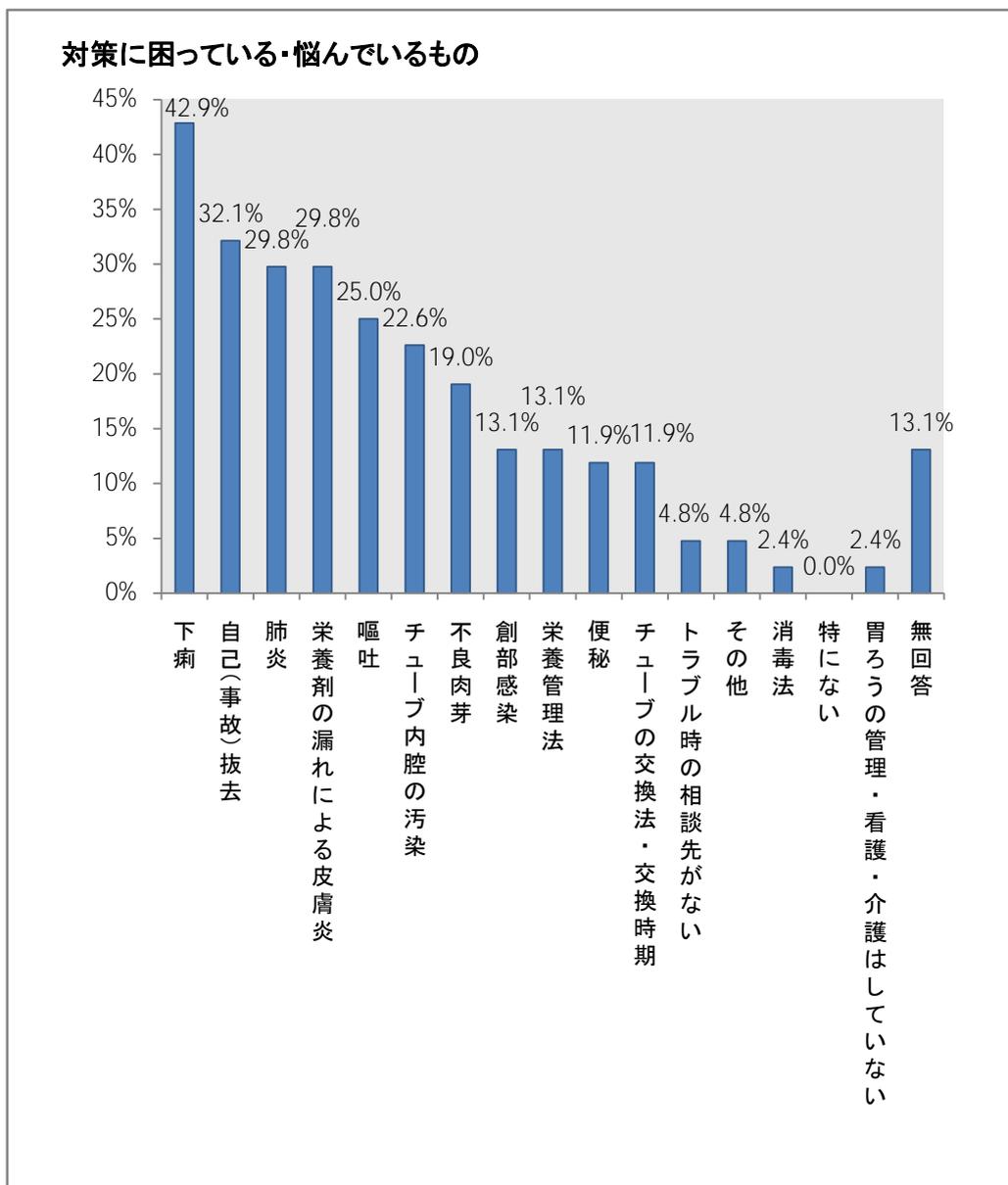
■ 所属先施設の早期退院・退所への積極度



N=84

Ⅲ. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるもの(複数回答可)

■ 対策に困っている・悩んでいるもの



N=84

その他: PEG周囲のスキントラブル。

口腔内の乾燥・口腔ケア。

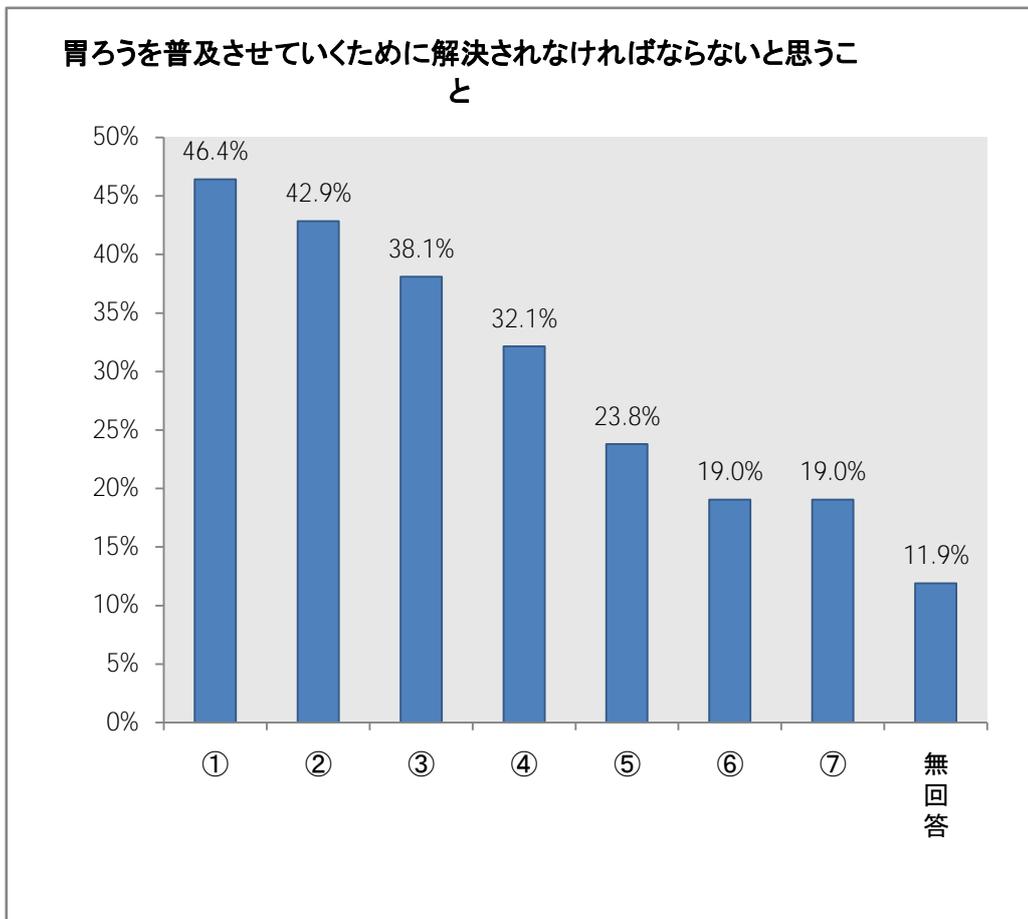
経腸栄養剤のコストが通常の食材費より高価。

入所通所等介護サービスが利用できない。

IV. 胃ろうをもっと理解していくために、解決されなければならないと思うこと。

(3つだけあげてもらった複数回答)

■ 胃ろうを理解していくために解決されなければならないと思うこと



N=84

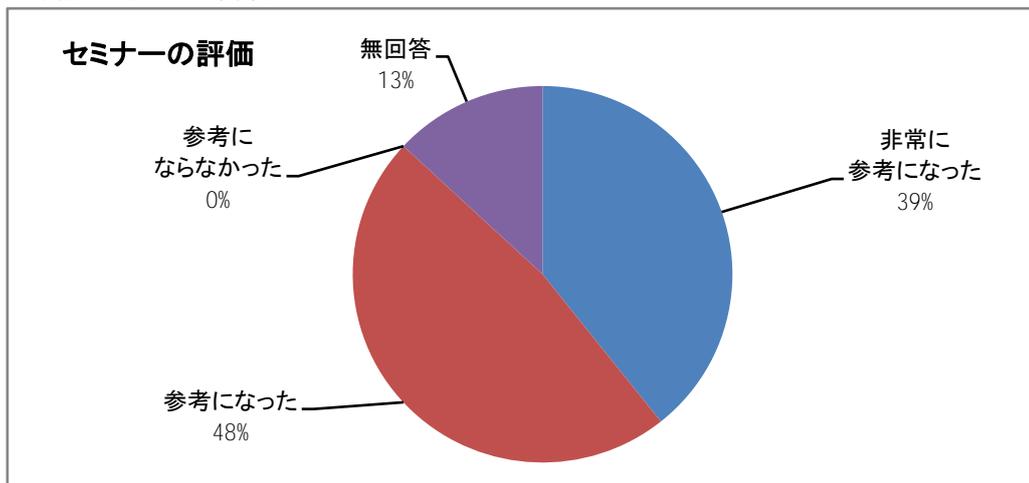
①	胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	46.4%
②	食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみること。	42.9%
③	造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	38.1%
④	胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	32.1%
⑤	一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	23.8%
⑥	専門医や専門看護師の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	19.0%
⑦	胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	19.0%

無回答

11.9%

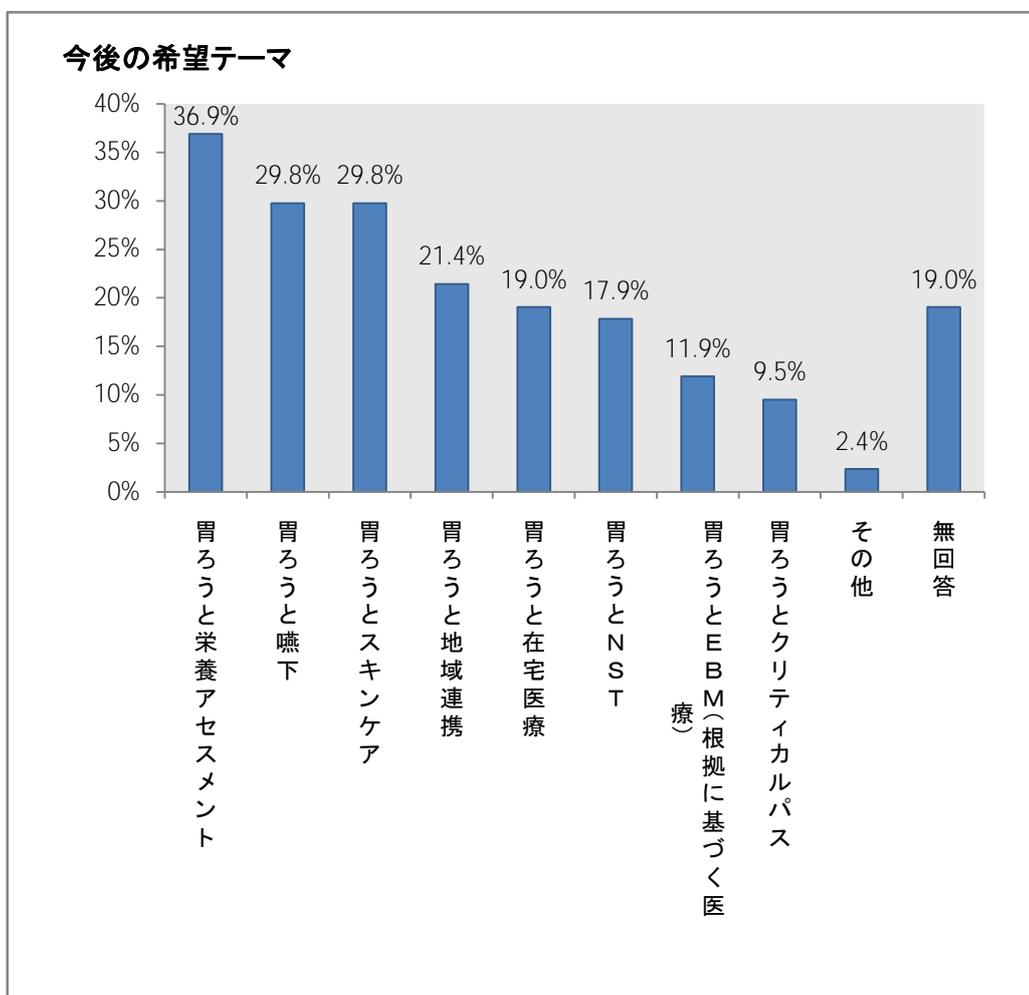
V. 今回のセミナーの評価と、今後のセミナーの希望テーマ

■ 今回のセミナー評価



N=84

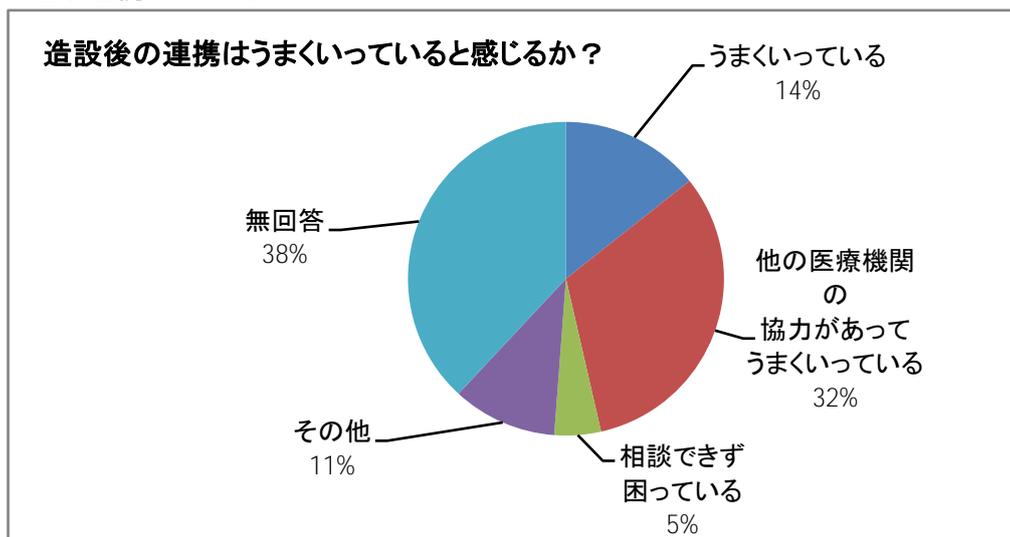
■ 今後のセミナーの希望テーマ。(複数回答)



N=84

その他: DMやCKD等の患者の胃ろうの管理
嚥下と地域連携

VI. 造設後の地域連携について



N=84

その他：連携に向け、意識が薄い。働きかける人がいないと動かない場合が多い。病院と同じ栄養剤に限定してしまっている。医師がいないため、新しいものは難しく出来ない。

おたのしみで経口移行したいが、医務や介護との連携がとりにくい。

家族へのメンタル的なケア⇒造設したことを後悔している。又、親族が誤解しているなど。

PEG造設後、退院直後、家族が管理できず、生活が混乱する。介護者が高齢のため、管理できない、理解できない。PEG造設した方の受け入れできる介護保険施設が少なすぎる。

うまくいっているが、施設や在宅へ退院後に何かトラブルがあるとうまく対応できない。

開業医のドクターが胃ろうについての理解が乏しかったため、トラブル時(漏れが強かった際に)、対応方法が瞬時に行えなかった経験がありました。

ドクターの方針が明確に感じられず、ナースが報告しても対処が遅い。

VII. 自由回答意見

問. 胃ろうの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください。

- ・ とても勉強になりました。もっと当院のナースにも来てほしいと思います。
- ・ ドクターの講義が面白かったです。
- ・ 小澤先生の話がわかりやすく良かった。ありがとうございました。(上唇に意識してみたいと思います。発見でした。水を飲むのも面白くなりました。)
- ・ 今回初めて参加させていただきました。とてもわかりやすく、演題も講演もどれも興味深い講演でした。私は病棟看護師ですが、うちの病院にはNSTがありません。NSTがあると、他機関とも連携がとれると思います。
- ・ PEG管理や食事介助方法等、本日のセミナーで学んだことを臨床現場で活かしていきたいです。
- ・ 他医療機関への造設依頼をしているが、感染症(特にMRSA)の患者は断られているのが現状です。
- ・ (Q12に対して)インフォームドコンセントは行われているが、時間が経ち家族が介護の疲れを訴え、「こんな筈ではなかった。」とこぼされるのを聞くと、説明と理解に差があると感じる。
- ・ 小田原地域には、医師会主催の小田原経腸栄養セミナーがあるので、そのセミナーともうまくタイアップして、より充実したセミナーを作り上げるといいなと思います。
- ・ 嘔吐・下痢を併発する人が多いので、対策となるような内容があるとうれしいです。
- ・ 司会のマイクが聞きづらいです。もっと調整してください。

小田原地区合同セミナーPDNセミナーアンケート

回収サンプル数：84

回答番号：回答内容：実数

Q1. あなたの所属先は？（ひとつだけ）

(1)一般診療所（無床）：0(2)一般診療所（有床）：2(3)一般病院：23(4)特定機能病院：6(5)地域医療支援病院：2(6)一般病院＋療養型病床：9(7)療養型病床：7(8)脳神経外科病院：0(9)精神科病院：5(10)リハビリテーション病院：0(11)特別養護老人施設：5(12)老人保健施設：8(13)有料老人施設：0(14)障害者施設：1(15)訪問看護ステーション：4(16)居宅支援事業所：4(17)在宅介護老人支援センター：0(18)その他：7 無回答：7

Q2. あなたは次のどれにあたりますか？（ひとつだけ）

(1)医師：0(2)看護師：52(3)准看護師：2(4)訪問看護師・准看護師：1(5)介護福祉士：2(6)作業療法士：1(7)理学療法士：0(8)社会福祉士：0(9)臨床心理士：0(10)言語聴覚士：0(11)介護支援専門員：7(12)訪問介護員（ホームヘルパー）：0(13)薬剤師：0(14)管理栄養士：18(15)栄養士：0(16)その他：1 無回答：0

〔医師以外の参加者に対して N=84〕

Q3. あなたは、現在、胃ろうの患者様の看護・介護を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)行っている：60 (2)現在は行っていないが、以前は行ったことがある：10
(3)行っていない：10 無回答：4

N=60

Q4. 胃ろうの看護・介護を行うようになってから何年位になりますか？（ひとつだけ）

(1)半年位：7(2)～1年位：8(3)～3年位：11(4)～5年位：10(5)5年以上～：22 無回答：2

〔医師に対して N=0〕

Q5. 先生のご担当診療科目は？（いくつでも）

(1)外科：0(2)内科：0(3)内視鏡科：0(4)その他：0 無回答：0

Q6. 先生が胃ろうの施行を行うようになったのは何年位前からですか？（ひとつだけ）

(1)～2,3年位前：0(2)～5年位前：0(3)～10年位前：0(4)10年以上前～：0(5)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

Q7. 胃ろうを施行した患者様の原疾患は何でしたか？（いくつでも）

(1)脳血管障害：0(2)認知症：0(3)神経疾患：0(4)呼吸器疾患：0(5)外傷：0(6)癌：0(7)その他：0(8)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

Q8. 腹腔内誤挿入を経験したことがありますか？（ひとつだけ）

(1)ある：0(2)ない：0(3)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

Q9. 貴院では、一年間に、胃ろうの施行を何件行っていますか？（ひとつだけ）

(1)～10件以下：0(2)～20件：0(3)～30件：0(4)～40件：0(5)～50件：0(6)51件以上～：0(7)胃ろうの施行は行っていない：0 無回答：0

〔以下、全員に対して N=84〕

Q10. 訪問看護・介護を含めて、御施設には胃ろうの患者様は何人いらっしゃいますか？（ひとつだけ）

(1)～5人：23(2)～10人：11(3)～20人：12(4)～30人：0(5)～50人：1(6)～100人：0(7)101人以上～：0(8)胃ろうの患者様はいるが人数は分からない：25(9)胃ろうの患者様はいない：4 無回答：8

Q11. 御施設では、胃ろうの造設・管理を行っていますか？（ひとつだけ）

(1)造設・管理を行っている：42 (2)看護・介護のみ行っている：29
(3)いずれも行っていない：3 無回答：10

〔N=43〕

Q12. 御施設では、胃ろうの造設にあたって、患者さまご本人やご家族へのインフォームドコンセントが十分に行われていると思いますか？

(Q12のつづき)

(1)十分行われている:11(2)まあ行われている:27(3)十分行われていない:2(4)胃ろうの造設は行っていない:0
無回答:3

Q13. 御施設では、胃ろうの訪問診療・在宅交換を行っていますか？(いくつでも)

(1)訪問診療を行っている:3(2)在宅交換を行っている:3(3)いずれも行っていない:23 無回答:14

[N=84]

Q14. 御施設は、胃ろうの導入・施行に積極的ですか？(ひとつだけ)

(1)積極的:7(2)どちらかといえば積極的:43(3)あまり積極的でない:14(4)胃ろうの導入・施行はまだ行っていない:4 無回答:16

Q15. 御施設は、胃ろうの造設後に積極的なリハビリを行うなど早期退院・退所に心掛けていますか？(ひとつだけ)

(1)積極的:5(2)どちらかといえば積極的:18(3)あまり積極的でない:34(4)胃ろうの患者はいない:2 無回答:25

Q16. 胃ろうの管理・看護・介護の中で、対策に困っている・悩んでいるものがありますか？(いくつでも)

(1)自己(事故)抜去:27(2)肺炎:25(3)嘔吐:21(4)下痢:36(5)便秘:10(6)栄養剤の漏れによる皮膚炎:25(7)不良肉芽:16(8)創部感染:11(9)チューブの交換法・交換時期:10(10)チューブ内腔の汚染:19(11)消毒法:2(12)栄養管理法:11(13)トラブル時の相談先がない:4(14)その他:4(15)特にない:0(16)胃ろうの管理・看護・介護はしていない:2 無回答:11

Q17. 胃ろうをもっと普及させていくためには、どのようなことが解決されなければならないと思いますか。次の中から3つだけ挙げてください。(3つだけ)

① 胃ろうについての勉強会の充実。(胃ろうの栄養・嚥下についての知識の向上、NSTや在宅管理についての勉強会など)	39
	46.4%
② 食べられなくなれば即胃ろうというのではなく、胃ろう本来の「役割」をいま一度考え直してみる。	36
	42.9%
③ 造設、管理、看護、介護の全般にわたる院内連携や地域連携の確立。	32
	38.1%
④ 胃ろうの手技・管理の標準化。(手技の安全かつ確実な施行、合併症の発生予防、発生後の対処方法、術後ケアなどの標準化)	27
	32.1%
⑤ 一般の人々や病院関係者に正しい理解を持ってもらうためのPR活動の充実	20
	23.8%
⑥ 専門医や専門看護者の育成。(造設医の資格化、トラブルに対応できる専門機関の設立、コメディカルの育成など)	16
	19.0%
⑦ 胃ろうの適応、危険度を示す疾患・状態別のガイドラインの作成。	16
	19.0%
	無回答 10
	11.9%

Q18. きょうのセミナーは参考になりましたか？(ひとつだけ)

(1)非常に参考になった:33(2)参考になった:40(3)参考にならなかった:0 無回答:11

Q19. 今後のセミナーのテーマでは何を希望しますか？(いくつでも)

(1)胃ろうと嚥下:25(2)胃ろうと栄養アセスメント:31(3)胃ろうとスキンケア:25(4)胃ろうと在宅医療:16(5)胃ろうとNST:15(6)胃ろうとクリティカルパス:8(7)胃ろうと地域連携:18(8)胃ろうとEBM(根拠に基づく医療):10(9)その他:2 無回答:16

Q20. 所属先の所在地は？

県 市・郡

Q21. 胃ろうの普及やPDNセミナーについて、どのようなことでも結構です。忌憚のないご意見をお聞かせください？